

2007年制定

コンクリート標準示方書 [規準編]

土木学会規準および関連規準

目 次

土木学会規準

A . セメント

B . 水

1 . コンクリート用練混ぜ水の品質規格 (案) (JSCE-B 101-2007) 1

C . 骨 材

1 . コンクリート用高強度フライアッシュ人工骨材の品質規格 (案) (JSCE-C 101-2007)(CL 106 高強度フライアッシュ人工骨材指針) 5
2 . 海砂の塩化物イオン含有率試験方法 (滴定法) (案) (JSCE-C 502-2007) 8
3 . 海砂の塩化物イオン含有率試験方法 (簡易測定器法) (案) (JSCE-C 503-2007) 12
4 . 高炉スラグ混合細骨材の高炉スラグ細骨材混合率試験方法 (案) (JSCE-C 504-2007)(CL 76 高炉スラグ骨材指針) 15
5 . 高強度フライアッシュ人工骨材の圧かい荷重試験方法 (JSCE-C 505-2001) (CL 106 高強度フライアッシュ人工骨材指針) 17
6 . 電気抵抗法によるコンクリート用スラグ細骨材の密度および吸水率試験方法 (JSCE-C 506-2003)(CL 110 電気炉酸化スラグ骨材指針) 19
7 . コンクリート用骨材のアルカリシリカ反応性評価試験方法 (改良化学法) (案) (JSCE-C 511-2007)(CL 105 自己充てん型高強度高耐久コンクリート指針) 23

D . 混和材料

1 . 吹付けコンクリート（モルタル）用急結剤品質規格（案）(JSCE-D 102-2005)	
(CL 121 吹付けコンクリート指針)	29
附属書 1（規定） 急結剤を添加したモルタルの手練りによる練混ぜ方法	32
附属書 2（規定） 急結剤を添加したモルタルの供試体の作り方 ——振動台を用いない供試体の作り方——.....	33
附属書 3（規定） 急結剤を添加したモルタルの貫入抵抗による凝結時間 測定方法.....	33
2 . コンクリート用水中不分離性混和剤品質規格（案）(JSCE-D 104-2007)	
(CL 67 水中不分離性コンクリート指針)	35
附属書 1 流動化剤の固形成分量の試験方法.....	40
附属書 2 水中不分離性コンクリートの水中分離度試験方法.....	40
附属書 3 コンクリート用水中不分離性混和剤中の全アルカリ量および 塩化物イオン量の試験方法.....	42
3 . フライアッシュ用 AE 剤品質規格 (JSCE-D 107-1999)	
(CL 94 フライアッシュ指針) <省略>	
4 . 高炉スラグ微粉末の混入率および置換率試験方法（案）(JSCE-D 501-2007)	
(CL 63 高炉スラグ微粉末指針)	48
5 . 混和材として用いたフライアッシュの置換率試験方法 (JSCE-D 503-1999)	
(CL 94 フライアッシュ指針) <省略>	

E . 鋼材・補強材

1 . コンクリート用鋼纖維品質規格（案）(JSCE-E 101-2007)(CL 50 SFRC 指針)	55
附属書（規定） 鋼纖維の引張強度試験方法.....	58
2 . エポキシ樹脂塗装鉄筋の品質規格 (JSCE-E 102-2003)	
(CL 112 EP 鉄筋指針)	59
3 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用棒鋼の品質規格 (JSCE-E 103-2003)	
(CL 112 EP 鉄筋指針)	61
4 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の品質規格 (JSCE-E 104-2003)	
(CL 112 EP 鉄筋指針)	64
5 . エポキシ樹脂塗装鉄筋補修用塗料の品質規格 (JSCE-E 105-2003)	
(CL 112 EP 鉄筋指針)	65

6 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用プラスト処理規準 (JSCE-E 112-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	66
7 . 鉄筋コンクリート用太径ねじ節鉄筋 D57 および D64 品質規格 (案) (JSCE-E 121-2007)(CL 71 太径ねじ節鉄筋指針)	67
8 . 連続繊維補強材の品質規格 (JSCE-E 131-1999)(CL 88 FRP 指針)	72
9 . 鉄筋継手部の疲労試験方法 (JSCE-E 501-1999)(CL 49 鉄筋継手指針)	79
10 . PC 工法の定着具および接続具の性能試験方法 (JSCE-E 503-1999) (CL 66 PC 工法指針)	81
11 . エポキシ樹脂塗装鉄筋のピンホール試験方法 (JSCE-E 512-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	83
12 . エポキシ樹脂塗装鉄筋の塗膜厚試験方法 (JSCE-E 513-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	85
13 . エポキシ樹脂塗装鉄筋の耐衝撃性試験方法 (JSCE-E 514-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	88
14 . エポキシ樹脂塗装鉄筋の曲げ試験方法 (JSCE-E 515-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	91
15 . エポキシ樹脂塗装鉄筋の付着強度試験方法 (JSCE-E 516-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	94
16 . エポキシ樹脂塗装鉄筋の耐食性試験方法 (JSCE-E 518-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	98
17 . エポキシ樹脂塗装鉄筋の塗膜硬化性試験方法 (JSCE-E 519-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	100
18 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の塗膜外観試験方法 (JSCE-E 521-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	101
19 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の塗膜基盤目試験方法 (JSCE-E 522-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	102
20 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の塗膜耐衝撃性試験方法 (JSCE-E 523-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	104
21 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の塗膜硬度試験方法 (JSCE-E 526-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	106
22 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の塗膜耐食性試験方法 (JSCE-E 527-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	108
23 . エポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の塗膜耐薬品性試験方法 (JSCE-E 528-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	110
24 . エポキシ樹脂塗装鉄筋補修用塗料の試験方法 (JSCE-E 529-2003) (CL 112 EP 鉄筋指針)	112

25 . 工ポキシ樹脂塗装鉄筋用塗料の塗膜塩化物イオン透過性試験方法 (JSCE-E 530-2003)(CL 112 EP 鉄筋指針)	114
26 . 連続繊維補強材の引張試験方法 (案)(JSCE-E 531-2007)(CL 88 FRP 指針)	116
27 . 連続繊維補強材の曲げ引張試験方法 (JSCE-E 532-1999)(CL 88 FRP 指針)	119
28 . 連続繊維補強材のクリープ破壊試験方法 (案)(JSCE-E 533-2007) (CL 88 FRP 指針)	121
29 . 連続繊維補強材の長時間リラクセーション試験方法 (JSCE-E 534-1999) (CL 88 FRP 指針)	124
30 . 連続繊維補強材の引張疲労試験方法 (JSCE-E 535-1999)(CL 88 FRP 指針)	127
31 . 連続繊維補強材の熱機械分析による熱膨張係数試験方法 (JSCE-E 536-1999) (CL 88 FRP 指針)	129
32 . 連続繊維補強材を用いた PC 工法の定着具および接続具の性能試験方法 (JSCE-E 537-1999)(CL 88 FRP 指針)	131
33 . 連続繊維補強材の耐アルカリ試験方法 (案)(JSCE-E 538-2007) (CL 88 FRP 指針)	134
34 . 引抜き試験による連続繊維補強材とコンクリートとの付着強度試験方法 (案) (JSCE-E 539-2007)(CL 88 FRP 指針)	136
35 . 二面せん断による連続繊維補強材のせん断試験方法 (案)(JSCE-E 540-2007) (CL 88 FRP 指針)	139
36 . 連続繊維シートの引張試験方法 (案)(JSCE-E 541-2007) (CL 101 連続繊維シート指針)	141
37 . 連続繊維シートの継手試験方法 (案)(JSCE-E 542-2007) (CL 101 連続繊維シート指針)	146
38 . 連続繊維シートとコンクリートとの付着試験方法 (案)(JSCE-E 543-2007) (CL 101 連続繊維シート指針)	150
39 . 連続繊維シートと鋼材との付着試験方法 (案)(JSCE-E 544-2007) (CL 101 連続繊維シート指針)	155
40 . 連続繊維シートとコンクリートとの接着試験方法 (案)(JSCE-E 545-2007) (CL 101 連続繊維シート指針)	159
41 . 連続繊維シートの引張疲労試験方法 (案)(JSCE-E 546-2007) (CL 101 連続繊維シート指針)	162
42 . 連続繊維シートの促進暴露試験方法 (案)(JSCE-E 547-2007) (CL 101 連続繊維シート指針)	164
43 . 連続繊維シートの凍結融解試験方法 (案)(JSCE-E 548-2007) (CL 101 連続繊維シート指針)	167
44 . 連続繊維シートの耐水 , 耐酸 , 耐アルカリ試験方法 (案)(JSCE-E 549-2007)	

(CL 101 連続纖維シート指針)	170
45. コンクリート構造物における自然電位測定方法(案)(JSCE-E 601-2007)	174

F . フレッシュコンクリート

1. 舗装用コンクリートの振動台式コンシスティンシー試験方法(JSCE-F 501-1999)	177
2. 加圧ブリーディング試験方法(案)(JSCE-F 502-2007) (CL100 ポンプ施工指針)	178
3. 水中不分離性コンクリートの圧縮強度試験用水中作製供試体の作り方 (JSCE-F 504-1999)(CL67 水中不分離性コンクリート指針)	181
4. 試験室におけるモルタルの作り方(案)(JSCE-F 505-2007)	183
5. モルタルまたはセメントペーストの圧縮強度試験用円柱供試体の作り方 (JSCE-F 506-1999)	185
6. RCD 用コンクリートのコンシスティンシー試験方法(案)(JSCE-F 507-2007)	187
7. 超硬練りコンクリートの締固め性試験方法(案)(JSCE-F 508-2007)	189
8. フレッシュコンクリートの変形性評価試験方法(案)(JSCE-F 509-2007) (CL100 ポンプ施工指針)	192
9. 高流動コンクリートの充てん装置を用いた間げき通過性試験方法(案) (JSCE-F 511-2007)(CL93 高流動コンクリート指針)	195
10. 高流動コンクリートの漏斗を用いた流下試験方法(案)(JSCE-F 512-2007) (CL93 高流動コンクリート指針)	198
11. 高流動コンクリートの空気量の圧力による試験方法(空気室圧力方法) (JSCE-F 513-1999)(CL93 高流動コンクリート指針)	201
12. 高流動コンクリートの L 形フロー試験方法(案)(JSCE-F 514-2007) (CL93 高流動コンクリート指針)	203
13. 高流動コンクリートの強度試験用供試体の作り方(JSCE-F 515-1999) (CL93 高流動コンクリート指針)	205
14. プレパックドコンクリートの注入モルタルの流動性試験方法 (P 漏斗による方法)(JSCE-F 521-1999)	207
15. プレパックドコンクリートの注入モルタルのブリーディング率および膨張率 試験方法(ポリエチレン袋方法)(案)(JSCE-F 522-2007)	208
16. PC グラウトの流動性試験方法(JSCE-F 531-1999)	210
17. PC グラウトのブリーディング率および膨張率試験方法(ポリエチレン袋方法) (JSCE-F 532-1999)	212

18 . PC グラウトのブリーディング率および膨張率試験方法 (容器方法)(案)	213
(JSCE-F 533-2007)	
19 . 充てんモルタルの流動性試験方法 (JSCE-F 541-1999)	217
20 . 充てんモルタルのブリーディング率および膨張率試験方法	
(JSCE-F 542-1999)	218
21 . 傾斜管によるプレパックドコンクリートの注入モルタルおよび PC グラウトの レオロジー定数試験方法 (案)(JSCE-F 546-2007)	219
22 . 試験室における鋼纖維補強コンクリートの作り方 (JSCE-F 551-1999)	
(CL 50 SFRC 指針)	221
23 . 鋼纖維補強コンクリートの強度およびタフネス試験用供試体の作り方	
(JSCE-F 552-1999)(CL 50 SFRC 指針)	223
24 . 吹付け鋼纖維補強コンクリートの強度およびタフネス試験用供試体の作り方	
(JSCE-F 553-1999)(CL 50 SFRC 指針)	228
25 . 鋼纖維補強コンクリートの鋼纖維混入率試験方法 (JSCE-F 554-1999)	
(CL 50 SFRC 指針)	230
26 . 吹付け鋼纖維補強コンクリートの鋼纖維混入率試験方法 (JSCE-F 555-1999)	
(CL 50 SFRC 指針)	233
27 . 吹付けコンクリート (モルタル) の圧縮強度試験用供試体の作り方 (案)	
(JSCE-F 561-2005)(CL 121 吹付け施工指針)	235
28 . 吹付けコンクリート (モルタル) の耐久性試験用供試体の作り方 (案)	
(JSCE-F 562-2005)(CL 121 吹付け施工指針)	237
29 . 吹付けコンクリート (モルタル) ののはね返り率試験方法 (案)	
(JSCE-F 563-2005)(CL 121 吹付け施工指針)	239
30 . 吹付けコンクリート (モルタル) の粉じん濃度試験方法 (案)	
(JSCE-F 564-2005)(CL 121 吹付け施工指針)	242
31 . コンクリート (モルタル) の吹付け試験方法 (案)(JSCE-F 565-2005)	
(CL 121 吹付け施工指針)	245
32 . 補修・補強用吹付けモルタルの付着強度試験用供試体の作り方 (案)	
(JSCE-F 566-2005)(CL 121 吹付け施工指針)	248

G . 硬化コンクリート

1 . 引抜き試験による鉄筋とコンクリートとの付着強度試験方法	
(JSCE-G 503-2007)	249

2 . 硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法 (JSCE-G 504-2007)	253
3 . 円柱供試体を用いたモルタルまたはセメントペーストの圧縮強度試験方法 (JSCE-G 505-1999)	257
4 . プレパックドコンクリートの注入モルタルの圧縮強度試験方法 (JSCE-G 521-2007)	259
5 . プレパックドコンクリートの圧縮強度試験方法 (JSCE-G 522-1999)	260
6 . PC グラウトの圧縮強度試験方法 (JSCE-G 531-2007)	262
7 . 充てんモルタルの圧縮強度試験方法 (JSCE-G 541-1999)	263
8 . 鋼纖維補強コンクリートの圧縮強度および圧縮タフネス試験方法 (JSCE-G 551-2007)(CL 50 SFRC 指針)	264
9 . 鋼纖維補強コンクリートの曲げ強度および曲げタフネス試験方法 (JSCE-G 552-2007)(CL 50 SFRC 指針)	267
10 . 鋼纖維補強コンクリートのせん断強度試験方法 (JSCE-G 553-2007) (CL 50 SFRC 指針)	270
11 . 引抜き方法による吹付けコンクリートの初期強度試験方法 (JSCE-G 561-2007)	272
12 . はりによる吹付けコンクリートの初期圧縮強度試験方法 (JSCE-G 562-2007)	275
13 . 電気泳動によるコンクリート中の塩化物イオンの実効拡散係数試験方法 (案) (JSCE-G 571-2007)	277
附屬書 電気泳動試験による実効拡散係数を用いた見掛けの拡散係数計算方法	283
14 . 浸せきによるコンクリート中の塩化物イオンの見掛けの拡散係数試験方法 (案) (JSCE-G 572-2007)	285
15 . 実構造物におけるコンクリート中の全塩化物イオン分布の測定方法 (案) (JSCE-G 573-2007)	289
附屬書 コンクリート中の全塩化物イオン濃度の測定結果に及ぼす 骨材量の影響の補正方法	293
16 . EPMA 法によるコンクリート中の元素の面分析方法 (案) (JSCE-G 574-2005)	297
附屬書 1 元素の面分析データの濃度への変換方法 (比例法)	304
附屬書 2 元素の面分析データの濃度への変換方法 (検量線法)	306
附屬書 3 EPMA によるコンクリートの濃度分布の作成方法	307
17 . 硬化したコンクリートからの微量成分溶出試験方法 (案)(JSCE-G 575-2005)	308

H . コンクリート製品

1 . プレキャストコンクリート用エポキシ樹脂系接着剤（橋げた用）品質規格（案） （JSCE-H 101-2007）	313
---	-----

I . 施工機械および資材

1 . 連続ミキサの計量・供給性能試験方法（案）(JSCE-I 501-2007) (CL 59 連続ミキサ指針)	317
2 . 連続ミキサの練混ぜ性能試験方法（案）(JSCE-I 502-2007) (CL 59 連続ミキサ指針)	319

J . 樹脂系コンクリート

K . 補修材料

1 . 表面被覆材の耐候性試験方法（案）(JSCE-K 511-2007)	321
2 . 表面被覆材の酸素透過性試験方法 (JSCE-K 521-1999)	325
3 . 表面被覆材の透湿度試験方法 (JSCE-K 522-2005)	327
4 . 表面被覆材の透水量試験方法 (JSCE-K 523-2005)	329
5 . 表面被覆材の塩化物イオンの浸透深さ試験方法 (JSCE-K 524-2005)	330
6 . 表面被覆材の付着強さ試験方法 (JSCE-K 531-1999)	332
7 . 表面被覆材のひび割れ追従性試験方法（案）(JSCE-K 532-2007)	335
8 . コンクリート構造物補修用有機系ひび割れ注入材の試験方法 (JSCE-K 541-2000)	338
9 . コンクリート構造物補修用セメント系ひび割れ注入材の試験方法 (JSCE-K 542-2000)	344
10 . コンクリート構造物補修用ポリマーセメント系ひび割れ注入材の試験方法 (JSCE-K 543-2000)	349
11 . コンクリート構造物補修・補強用有機系充てん材の試験方法 (JSCE-K 551-2000)	352

12 . コンクリート構造物補修・補強用セメント系充てん材の試験方法 (JSCE-K 552-2000)	355
13 . コンクリート構造物補修・補強用ポリマーセメント系充てん材の試験方法 (JSCE-K 553-2000)	357
14 . コンクリート構造物用断面修復材の試験方法 (JSCE-K561-2003)	359
15 . 表面含浸材の試験方法 (JSCE-K 571-2005)(CL 115 表面保護工指針)	365

Z . 一 般

関連規準

A . セメント

B . 水

1 . 水道法（平成 17 年 7 月 26 日・法律第 87 号）<省略>

2 . 水質基準に関する省令（平成 15 年 5 月 30 日・厚生労働省令第 101 号）<省略>

C . 骨 材

D . 混和材料

E . 鋼材・補強材

1 . 鉄筋のガス圧接工事標準仕様書（日本圧接協会-2005）<省略>

2 . 摩擦接合用トルシア形高力ボルト・六角ナット・平座金のセット

（高力ボルトに関する要領・規格集，日本道路協会-1984）<省略>

F . フレッシュコンクリート

1 . 塩化物イオン選択電極法によるフレッシュコンクリート中の塩化物イオン含有量試験方法（JCI-SC6-1987）<省略>

2 . PC グラウトの材料分離抵抗性試験方法（JHS 419-2004）

（PC グラウトの設計施工指針< PC 技術協会 >） 375

3 . PC グラウトのブリーディング率及び体積変化率試験方法（鉛直管方法）

（JHS 420-2004）（PC グラウトの設計施工指針< PC 技術協会 >） 378

G . 硬化コンクリート

1 . 繊維補強コンクリートの試験方法に関する規準 (JCI-SF-1984) <省略>	
2 . コンクリートのアルカリシリカ反応性判定試験方法 (案)(コンクリート法) (JCI-AAR-3-1987)	381
3 . セメントペースト , モルタルおよびコンクリートの自己収縮および 自己膨張試験方法 (案)(JCI-1996)	384
4 . コンクリート構造物の目視試験方法 (NDIS 3418: 2005)	387
5 . ドリル削孔粉を用いたコンクリート構造物の中性化深さ試験方法 (NDIS 3419: 1999)	390
6 . コンクリートの乾燥湿潤試験方法 (案)(土木研究所資料 No.2331)	393

H . コンクリート製品

I . 施工機械および資材

1 . 合板 (日本農林規格 , 平成 15 年農林水産省告示第 233 号) <省略>
--

J . 樹脂系コンクリート

K . 補修材料

Z . 一 般

1 . 労働安全衛生規則 (最終改正 : 平成 18 年 1 月 5 日・厚生労働省令第 1 号) <省略>
--

2007 年制定

コンクリート標準示方書 [規準編]

JIS 規格集

目 次

A. セメント

1. ポルトランドセメント (JIS R 5210 : 2003)	17
附属書 (規定) ポルトランドセメント (低アルカリ形)	21
2. 高炉セメント (JIS R 5211 : 2003)	22
3. シリカセメント (JIS R 5212 : 1997 (2002 確認)) <省略>	
4. フライアッシュセメント (JIS R 5213 : 1997 (2002 確認))	26
5. エコセメント (JIS R 5214 : 2003)	29
6. セメントの物理試験方法 (JIS R 5201 : 1997 (2002 確認))	34
附属書1 セメントの試験方法—凝結と安定性の測定	51
附属書2 セメントの試験方法—強さの測定	57
7. ポルトランドセメントの化学分析方法 (JIS R 5202 : 1999 (2004 確認)) <省略>	
附属書 (規定) 國際規格によるセメントの化学分析方法 <省略>	
8. セメントの水和熱測定方法 (溶解熱方法) (JIS R 5203 : 1995 (2001 確認)) <省略>	
9. セメントの蛍光 X 線分析方法 (JIS R 5204 : 2002) <省略>	
附属書1 (参考) 各種補正を適用する場合の補正方法 <省略>	
附属書2 (参考) 認識標準物質の例示 <省略>	

B. 水

C. 骨 材

1. 構造用軽量コンクリート骨材 (JIS A 5002 : 2003)	75
2. コンクリート用碎石及び碎砂 (JIS A 5005 : 1993 (2000 確認))	82
3. コンクリート用スラグ骨材	

第1部：高炉スラグ骨材（JIS A 5011-1 : 2003）	88
附属書1（規定）高炉スラグ骨材の化学成分分析方法 <省略>	
附属書2（参考）高炉スラグ細骨材の貯蔵の安定性の試験方法 <省略>	
第2部：フェロニッケルスラグ骨材（JIS A 5011-2 : 2003）	96
附属書1（規定）フェロニッケルスラグ骨材の化学成分分析方法 <省略>	
附属書2（参考）アルカリシリカ反応抑制対策の方法 <省略>	
第3部：銅スラグ骨材（JIS A 5011-3 : 2003）	101
附属書1（規定）銅スラグ骨材の化学成分分析方法 <省略>	
附属書2（参考）アルカリシリカ反応抑制対策の方法 <省略>	
第4部：電気炉酸化スラグ骨材（JIS A 5011-4 : 2003）	106
附属書1（規定）電気炉酸化スラグ骨材の化学成分分析方法 <省略>	
附属書2（参考）アルカリシリカ反応抑制対策の方法 <省略>	
4. コンクリート用再生骨材 H（JIS A 5021 : 2005）	113
附属書1（規定）原骨材の特定方法	121
附属書2（規定）限度見本による再生骨材 H の不純物量試験方法	122
5. 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材（JIS A 5031 : 2006）	123
附属書1（規定）コンクリート用溶融スラグ骨材を用いたモルタルの膨張率試験方法 <省略>	
附属書2（規定）コンクリート用溶融スラグ骨材の金属鉄分析方法 <省略>	
6. 骨材のふるい分け試験方法（JIS A 1102 : 2006）	132
附属書（参考）JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
7. 骨材の微粒分量試験方法（JIS A 1103 : 2003）	135
附属書（参考）練混ぜ機を用いた細骨材の微粒分量試験方法 <省略>	
8. 骨材の単位容積質量及び実積率試験方法（JIS A 1104 : 2006）	137
附属書（参考）JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
9. 細骨材の有機不純物試験方法（JIS A 1105 : 2001）	140
10. 細骨材の密度及び吸水率試験方法（JIS A 1109 : 2006）	142
附属書（参考）JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
11. 粗骨材の密度及び吸水率試験方法（JIS A 1110 : 2006）	145
附属書（参考）JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
12. 細骨材の表面水率試験方法（JIS A 1111 : 2001）	148
13. ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法（JIS A 1121 : 2001）	151
14. 硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験方法（JIS A 1122 : 2005）	155
15. 骨材の含水率試験方法及び含水率に基づく表面水率の試験方法（JIS A 1125 : 2001）	160
16. ひつかき硬さによる粗骨材中の軟石量試験方法（JIS A 1126 : 2001）<省略>	
17. 構造用軽量細骨材の密度及び吸水率試験方法（JIS A 1134 : 2006）<省略>	
18. 構造用軽量粗骨材の密度及び吸水率試験方法（JIS A 1135 : 2006）<省略>	

19.	骨材中に含まれる粘土塊量の試験方法 (JIS A 1137 : 2005)	163
	附属書 1 (規定) JIS A 1103 を行わずに試験する場合の骨材中に含まれる粘土塊 量の試験方法 (附属書法)	165
	附属書 2 (規定) 骨材中に含まれる粘土塊量の試験回数に関する判定基準	166
20.	骨材中の密度 1.95g/cm ³ の液体に浮く粒子の試験方法 (JIS A 1141 : 2001)	167
21.	有機不純物を含む細骨材のモルタルの圧縮強度による試験方法 (JIS A 1142 : 2001)	169
22.	軽量粗骨材の浮粒率の試験方法 (JIS A 1143 : 2001)	172
23.	骨材のアルカリシリカ反応性試験方法 (化学法) (JIS A 1145 : 2001)	174
24.	骨材のアルカリシリカ反応性試験方法 (モルタルバー法) (JIS A 1146 : 2001)	180
25.	コンクリート生産工程管理用試験方法 (コンクリート用細骨材の砂当量試験方法) (JIS A 1801 : 1989 (2000 確認))	184
26.	コンクリート生産工程管理用試験方法 (遠心力による細骨材の表面水率試験方法) (JIS A 1802 : 1989 (2000 確認))	187
27.	コンクリート生産工程管理用試験方法—粗骨材の表面水率試験方法 (JIS A 1803 : 1991 (2002 確認))	190
28.	コンクリート生産工程管理用試験方法—骨材のアルカリシリカ反応性試験方法 (迅速法) (JIS A 1804 : 2001)	192
29.	スラグ類の化学物質試験方法 第 1 部：溶出量試験方法 (JIS K 0058-1 : 2005)	197
	第 2 部：含有量試験方法 (JIS K 0058-2 : 2005)	203

D. 混和材料

1.	コンクリート用フライアッシュ (JIS A 6201 : 1999 (2004 確認))	211
	附属書 1 (規定) 45μm ふるい残分試験方法 (網ふるい方法)	216
	附属書 2 (規定) フライアッシュのモルタルによるフロー値比及び活性度指数の 試験方法	218
2.	コンクリート用膨張材 (JIS A 6202 : 1997 (2002 確認))	221
	附属書 1 (規定) 膨張材のモルタルによる膨張性試験方法	226
	附属書 2 (参考) 膨張コンクリートの拘束膨張及び収縮試験方法	232
	附属書 3 (参考) 膨張コンクリートの拘束養生による圧縮強度試験方法	240
3.	コンクリート用化学混和剤 (JIS A 6204 : 2006)	241
	附属書 1 (規定) コンクリート用化学混和剤中に含まれる塩化物イオン (Cl ⁻) 量の試験方法 <省略>	
	附属書 2 (規定) コンクリート用化学混和剤中に含まれるアルカリ量の試験方法 <省略>	

4.	鉄筋コンクリート用防せい剤 (JIS A 6205 : 2003)	254
	附属書1 (規定) 鉄筋の塩水浸せき試験方法 <省略>	
	附属書2 (規定) コンクリート中の鉄筋の促進腐食試験方法 <省略>	
5.	コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206 : 1997 (2002 確認))	261
	附属書 (規定) 高炉スラグ微粉末のモルタルによる活性度指数及びフロー値比の試験方法	265
6.	コンクリート用シリカフューム (JIS A 6207 : 2006)	267
	附属書1 (規定) シリカフュームスラリーの固形分の定量方法	271
	附属書2 (規定) 遊離酸化カルシウムの定量方法	272
	附属書3 (規定) 全量フラスコを用いたシリカフュームの密度試験方法	274
	附属書4 (規定) シリカフュームのモルタルによる活性度指数の試験方法	275
7.	塗料用アルミニウム顔料 (JIS K 5906 : 1998 (2004 確認)) <省略>	
	附属書1 (規定) 有機溶剤可溶物 <省略>	
	附属書2 (規定) リーフィングテスト液の調整 <省略>	
	附属書3 (参考) 塗膜の外観 <省略>	
8.	コンクリート用碎石粉 (TRA 0015 : 2002)	277
	附属書1 (規定) 碎石粉のメチレンブルー吸着量試験方法 <省略>	

E. 鋼材・補強材

1.	ワイヤラス (JIS A 5504 : 1994 (2006 確認)) <省略>	
2.	メタルラス (JIS A 5505 : 1995 (2006 確認)) <省略>	
3.	摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット (JIS B 1186 : 1995 (2005 確認)) <省略>	
4.	頭付きスタッド (JIS B 1198 : 1995 (2005 確認)) <省略>	
	附属書 頭付きスタッドの溶接部の試験及び検査 <省略>	
5.	一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101 : 2004)	281
	附属書1 (規定) 試験片の採取位置 <省略>	
6.	溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106 : 2004) <省略>	
	附属書1 (規定) 試験片の採取位置 <省略>	
	附属書2 (規定) 構造用鋼材—鋼板, 広幅平鋼, 棒鋼及び形鋼 <省略>	
	附属書A (規定) 試験片の採取位置及び方向 <省略>	
	附属書B (規定) サブサイズ衝撃試験片のエネルギー値 <省略>	
	附属書C (参考) 鋼製品の許容差についての国際規格のリスト <省略>	
	附属書D (参考) 溶接性についての注釈 <省略>	
	附属書3 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	

7.	PC 鋼棒 (JIS G 3109 : 1994 (2005 確認))	286
8.	再生鋼材 (JIS G 3111 : 2005) <省略>	
	附属書 1 (規定) 試験片の採取位置 <省略>	
9.	鉄筋コンクリート用棒鋼 (JIS G 3112 : 2004)	291
	附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
10.	溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 (JIS G 3114 : 2004) <省略>	
	附属書 (規定) 試験片の採取位置 <省略>	
11.	鉄筋コンクリート用再生棒鋼 (JIS G 3117 : 1987 (2004 確認))	298
12.	建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136 : 2005) <省略>	
	附属書 1 (規定) 熱加工制御を行った鋼板の炭素当量 <省略>	
	附属書 2 (規定) 熱加工制御を行った鋼板の溶接割れ感受性組成 <省略>	
	附属書 3 (規定) 試験片と採取位置 <省略>	
	附属書 4 (参考) JIS と対応する国際規格との対応表 <省略>	
13.	細径異形 PC 鋼棒 (JIS G 3137 : 1994 (2005 確認))	304
14.	建築構造用圧延棒鋼 (JIS G 3138 : 2005) <省略>	
15.	熱間圧延棒鋼とバーインコイルの形状、寸法及び質量並びにその許容差 (JIS G 3191 : 2002) <省略>	
16.	熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量及びその許容差 (JIS G 3192 : 2005) <省略>	
	附属書 1 (規定) 热間圧延形鋼－第 1 部 等辺山形鋼－寸法 <省略>	
	附属書 2 (規定) 热間圧延形鋼－第 2 部 不等辺山形鋼－寸法 <省略>	
	附属書 3 (規定) 热間圧延形鋼－第 3 部 等辺山形鋼及び不等辺山形鋼－許容差 <省略>	
	附属書 4 (規定) 热間圧延形鋼－第 4 部 傾斜厚フランジ溝形鋼－寸法及び 断面特性 <省略>	
	附属書 5 (規定) 热間圧延形鋼－第 5 部 傾斜厚フランジ I 形鋼－寸法及び 断面特性 <省略>	
	附属書 6 (規定) 热間圧延形鋼－第 6 部 傾斜厚フランジコラム－寸法及び 断面特性 <省略>	
	附属書 7 (規定) 热間圧延形鋼－第 7 部 造船用 L 形鋼－寸法、断面特性 及び許容差 <省略>	
	附属書 8 (規定) 热間圧延形鋼－第 8 部 球平形鋼－寸法、断面特性 及び許容差 <省略>	
	附属書 9 (規定) 热間圧延形鋼－第 9 部 高さと辺とが等しい T 形鋼－寸法 <省略>	
	附属書 10 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
17.	熱間圧延鋼板及び鋼帯の形状、寸法、質量及びその許容差 (JIS G 3193 : 2005) <省略>	
	附属書 1 (規定) 鋼板の平たん度 <省略>	
	附属書 2 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	

18. 熱間圧延平鋼の形状、寸法、質量及びその許容差
(JIS G 3194 : 1998 (2004 確認)) <省略>
19. 一般構造用炭素鋼鋼管 (JIS G 3444 : 2006) <省略>
20. 一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466 : 2006) <省略>
21. ピアノ線材 (JIS G 3502 : 2004) <省略>
附属書1 (規定) 特別品質規定 <省略>
附属書2 (規定) 國際規格による品質規定 <省略>
附属書3 (参考) JIS と対応する國際規格との対比表 <省略>
22. 軟鋼線材 (JIS G 3505 : 2004) <省略>
附属書1 (規定) 特別品質規定 <省略>
附属書2 (規定) 國際規格による品質規定 <省略>
附属書3 (参考) JIS と対応する國際規格との対比表 <省略>
23. 硬鋼線材 (JIS G 3506 : 2004) <省略>
附属書1 (規定) 特別品質規定 <省略>
附属書2 (規定) 國際規格による品質規定 <省略>
附属書3 (参考) JIS と対応する國際規格との対比表 <省略>
24. 硬鋼線 (JIS G 3521 : 1991 (2003 確認)) <省略>
25. 鉄線 (JIS G 3532 : 2000 (2005 確認)) <省略>
附属書1 (規定) 引張特性 <省略>
附属書2 (規定) 反復曲げ試験 <省略>
附属書3 (規定) 化学成分 <省略>
附属書4 (規定) 認証及び検査 <省略>
附属書5 (規定) 試験報告書 <省略>
26. PC 鋼線及び PC 鋼より線 (JIS G 3536 : 1999 (2004 確認))308
27. PC 硬鋼線 (JIS G 3538 : 1994 (2004 確認)) <省略>
28. 溶接金網及び鉄筋格子 (JIS G 3551 : 2005) <省略>
附属書 (参考) JIS と対応する國際規格との対比表 <省略>
29. ひし形金網 (JIS G 3552 : 2007) <省略>
30. ばね鋼鋼材 (JIS G 4801 : 2005) <省略>
附属書 (参考) JIS と対応する國際規格との対比表 <省略>
31. 溶接構造用遠心力鋳鋼管 (JIS G 5201 : 1991 (2007 確認)) <省略>
32. 鉄筋コンクリート用鋼－第1部：丸鋼 (ISO 仕様)
(JIS G 7103 : 2000 (2005 確認)) <省略>
附属書 (参考) 参考文献 <省略>
33. 鉄筋コンクリート用鋼－第2部：異形棒鋼 (ISO 仕様)
(JIS G 7104 : 2000 (2005 確認)) <省略>
附属書1 (参考) 異形棒鋼の多国間表示システム 2 例 <省略>
附属書2 (参考) 購入者と製造業者の協定の選択肢 <省略>

附属書3 (参考) 参考文献 <省略>

34. ばね用鋼線－第1部：一般要求事項 (ISO仕様)
(JIS G 7304 : 2000 (2005確認)) <省略>
35. ばね用鋼線－第2部：冷間引抜炭素鋼線 (ISO仕様)
(JIS G 7305 : 2000 (2005確認)) <省略>
36. ばね用鋼線－第3部：オイルテンパー線 (ISO仕様)
(JIS G 7306 : 2000 (2005確認)) <省略>
37. PC鋼材－第1部：一般要求事項 (ISO仕様)
(JIS G 7307 : 2000 (2005確認)) <省略>
- 附属書A (規定) 疲労挙動 <省略>
- 附属書B (参考) 受渡当事者間の協定によるオプション <省略>
- 附属書C (参考) 参考文献 <省略>
38. PC鋼材－第2部：冷間引抜きワイヤー (ISO仕様)
(JIS G 7308 : 2000 (2005確認)) <省略>
- 附属書A (参考) インデント加工及びクリンプ加工 <省略>
- 附属書B (参考) 推奨するコイル内径 <省略>
39. PC鋼材－第3部：焼入れ焼戻しワイヤー (ISO仕様)
(JIS G 7309 : 2000 (2005確認)) <省略>
- 附属書A (参考) 表面形状の例 <省略>
40. PC鋼材－第4部：ストランド (ISO仕様)
(JIS G 7310 : 2000 (2005確認)) <省略>
41. PC鋼材－第5部：後加工のある、又は後加工のない熱間圧延棒鋼 (ISO仕様)
(JIS G 7311 : 2000 (2005確認)) <省略>
42. 鋼材の検査通則 (JIS G 0303 : 2000 (2005確認)) 315
43. 鋼材の一般受渡し条件 (JIS G 0404 : 2005) 319
- 附属書1 (参考) 試験に関する重要規格 <省略>
- 附属書2 (参考) JISと対応する国際規格との対比表 <省略>
44. 鋼及び鋼製品－検査文書 (JIS G 0415 : 1999 (2004確認)) <省略>
45. 鋼及び鋼製品－機械試験用供試材及び試験片の採取位置並びに調製
(JIS G 0416 : 2006) <省略>
- 附属書A (規定) 供資材及び試験片の採取位置 <省略>
- 附属書JA (参考) JISと対応する国際規格との対比表 <省略>
46. 溶融亜鉛めっき試験方法 (JIS H 0401 : 2007) <省略>
- 附属書 (参考) JISと対応する国際規格との対比表 <省略>
47. 溶融亜鉛めっき (JIS H 8641 : 2007) <省略>
- 附属書1 (規定) 溶融亜鉛めっき用素材 <省略>
- 附属書2 (参考) JISと対応する国際規格との対比表 <省略>
48. 金属材料引張試験片 (JIS Z 2201 : 1998 (2003確認)) 332

附属書（規定）金属材料特別引張試験片 <省略>	
49. 金属材料引張試験方法 (JIS Z 2241 : 1998 (2004 確認))	343
50. 金属材料のシャルピー衝撃試験方法 (JIS Z 2242 : 2005) <省略>	
附属書A (参考) センタリングトング <省略>	
附属書B (規定) 横膨出の求め方 <省略>	
附属書C (規定) 破面率の求め方 <省略>	
附属書D (規定) 遷移曲線、破面遷移温度及びエネルギー遷移温度の求め方 <省略>	
附属書1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
51. 金属材料曲げ試験方法 (JIS Z 2248 : 2006)	351
附属書A (参考) 押金具の変位による曲げ角度の計算方法 <省略>	
附属書JA (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
52. 鋼溶接部の超音波探傷試験方法 (JIS Z 3060 : 2002) <省略>	
附属書1 (規定) 超音波探傷装置の機能及び性能 <省略>	
附属書2 (規定) 平板継手溶接部の探傷方法 <省略>	
附属書3 (規定) 円周継手溶接部の探傷方法 <省略>	
附属書4 (規定) 長手継手溶接部の探傷方法 <省略>	
附属書5 (規定) 鋼管分岐継手溶接部の探傷方法 <省略>	
附属書6 (規定) ノズル継手溶接部の探傷方法 <省略>	
附属書7 (規定) 試験結果の分類方法 <省略>	
附属書8 (参考) きずの指示高さの測定方法 <省略>	
53. 鉄筋コンクリート用異形棒鋼ガス圧接部の超音波探傷試験方法及び判定基準 (JIS Z 3062 : 1996 (2002 確認))	358
附属書1 はん(汎)用探傷器の機能及び性能 <省略>	
附属書2 専用探傷器の機能及び性能 <省略>	
附属書3 探触子の性能 <省略>	
附属書4 専用探傷器の定期点検方法 <省略>	
附属書5 対比試験片 <省略>	
54. 鋼溶接継手の放射線透過試験方法 (JIS Z 3104 : 1995 (2006 確認)) <省略>	
附属書1 鋼板の突合せ溶接継手の撮影方法及び透過写真の必要条件 <省略>	
附属書2 鋼管の円周溶接継手の撮影方法及び透過写真の必要条件 <省略>	
附属書3 鋼板のT溶接継手の撮影方法及び透過写真の必要条件 <省略>	
附属書4 透過写真によるきずの像の分類方法 <省略>	
55. 鉄筋コンクリート用棒鋼ガス圧接継手の検査方法 (JIS Z 3120 : 1980 (1999 確認))	362
56. 軟鋼用被覆アーク溶接棒 (JIS Z 3211 : 2000 (2005 確認)) <省略>	
57. 高張力鋼用被覆アーク溶接棒 (JIS Z 3212 : 2000 (2005 確認)) <省略>	
58. 炭素鋼及び低合金鋼用サブマージアーク溶接ソリッドワイヤ (JIS Z 3351 : 1999 (2005 確認)) <省略>	
59. 炭素鋼及び低合金鋼用サブマージアーク溶接フラックス	

- (JIS Z 3352 : 1988 (2005 確認)) <省略>
60. 手溶接技術検定における試験方法及び判定基準
(JIS Z 3801 : 1997 (2003 確認)) <省略>
61. 鉄筋のガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準
(JIS Z 3881 : 2002) <省略>

F. フレッシュコンクリート

1. コンクリートのスランプ試験方法 (JIS A 1101 : 2005)	367
2. フレッシュコンクリートの洗い分析試験方法 (JIS A 1112 : 2003)	370
3. フレッシュコンクリートの試料採取方法 (JIS A 1115 : 2005)	374
4. フレッシュコンクリートの単位容積質量試験方法及び空気量の質量による試験方法 (質量方法) (JIS A 1116 : 2005)	376
5. フレッシュコンクリートの空気量の容積による試験方法 (容積方法) (JIS A 1118 : 1997)	379
6. コンクリートのブリーディング試験方法 (JIS A 1123 : 2003)	384
7. フレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験方法－空気室圧力方法 (JIS A 1128 : 2005)	387
附属書1 (規定) フレッシュコンクリートの空気量の圧力による試験方法 －水柱圧力方法	393
附属書2 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
8. コンクリート強度試験用供試体の作り方 (JIS A 1132 : 2006)	399
附属書1 (参考) コンクリートの打込み方法	404
附属書2 (参考) 供試体のキャッピング方法	406
附属書3 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
9. 試験室におけるコンクリートの作り方 (JIS A 1138 : 2005)	407
10. フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法 (JIS A 1144 : 2001)	409
11. コンクリートの凝結時間試験方法 (JIS A 1147 : 2001)	411
12. コンクリートのスランプフロー試験方法 (JIS A 1150 : 2001)	413
13. フレッシュコンクリートの温度測定方法 (JIS A 1156 : 2006)	416

G. 硬化コンクリート

1. コンクリートの曲げ強度試験方法 (JIS A 1106 : 2006)	421
附属書1 (参考) 中央点載荷法によるコンクリートの曲げ強度試験方法 <省略>	
附属書2 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
2. コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法 (JIS A 1107 : 2002)	424
3. コンクリートの圧縮強度試験方法 (JIS A 1108 : 2006)	427
附属書1 (規定) アンボンドキャッピング <省略>	
附属書2 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
4. コンクリートの割裂引張強度試験方法 (JIS A 1113 : 2006)	430
附属書 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
5. コンクリートからの角柱供試体の採取方法及び強度試験方法 (JIS A 1114 : 2002)	433
6. 共鳴振動によるコンクリートの動弾性係数、動せん断弾性係数及び 動ポアソン比試験方法 (JIS A 1127 : 2001)	437
7. モルタル及びコンクリートの長さ変化試験方法	
第1部 コンパレータ方法 (JIS A 1129-1 : 2001)	442
第2部 コンタクトゲージ方法 (JIS A 1129-2 : 2001)	446
第3部 ダイヤルゲージ方法 (JIS A 1129-3 : 2001)	450
8. 遠心力締固めコンクリートの圧縮強度試験方法 (JIS A 1136 : 1993 (2000 確認)) <省略>	
9. コンクリートの凍結融解試験方法 (JIS A 1148 : 2001)	453
附属書 (参考) コンクリートの凍結融解試験における長さ増加比試験方法 <省略>	
10. コンクリートの静弾性係数試験方法 (JIS A 1149 : 2001)	457
11. 拘束されたコンクリートの乾燥収縮ひび割れ試験方法 (JIS A 1151 : 2002)	459
12. コンクリートの中性化深さの測定方法 (JIS A 1152 : 2002)	465
13. コンクリートの促進中性化試験方法 (JIS A 1153 : 2003)	469
14. 硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの試験方法 (JIS A 1154 : 2003)	472
附属書1 (参考) 硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオン分析用試料の 採取方法 <省略>	
附属書2 (参考) 硬化コンクリート中に含まれる温水抽出塩化物イオンの 分析方法 <省略>	
15. コンクリートの反発度の測定方法 (JIS A 1155 : 2003)	482
16. コンクリート生産工程管理用試験方法—温水養生法によるコンクリート強度の 早期判定試験方法 (JIS A 1805 : 2001)	485

H. コンクリート製品

1.	レディーミクストコンクリート (JIS A 5308 : 2003)	489
	附属書1 (規定) レディーミクストコンクリート用骨材	502
	附属書2 (規定) アルカリシリカ反応抑制対策の方法	507
	附属書3 (規定) レディーミクストコンクリートの練混ぜに用いる水	509
	附属書4 (規定) トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの使用方法	516
	附属書5 (規定) 軽量型枠	520
2.	ダクトイル鉄管モルタルライニング (JIS A 5314 : 1998 (2004 確認)) <省略>	
3.	プレキャストコンクリート製品一種類, 製品の呼び方及び表示の通則 (JIS A 5361 : 2004)	524
4.	プレキャストコンクリート製品一要求性能とその照査方法 (JIS A 5362 : 2004)	530
5.	プレキャストコンクリート製品一性能試験方法通則 (JIS A 5363 : 2004)	535
6.	プレキャストコンクリート製品一材料及び製造方法の通則 (JIS A 5364 : 2004)	544
	附属書 (参考) プレキャストコンクリート製品用コンクリート <省略>	
7.	プレキャストコンクリート製品一検査方法通則 (JIS A 5365 : 2004)	549
8.	プレキャスト無筋コンクリート製品 (JIS A 5371 : 2004)	557
	附属書1 (規定) 暗きよ類 <省略>	
	附属書2 (規定) 舗装・境界ブロック類 <省略>	
	附属書3 (規定) 路面排水溝類 <省略>	
	附属書4 (規定) ブロック式擁壁類 <省略>	
9.	プレキャスト鉄筋コンクリート製品 (JIS A 5372 : 2004)	561
	附属書1 (規定) くい類 <省略>	
	附属書2 (規定) 擁壁類 <省略>	
	附属書3 (規定) 暗きよ類 <省略>	
	附属書4 (規定) マンホール類 <省略>	
	附属書5 (規定) 路面排水溝類 <省略>	
	附属書6 (規定) 用排水路類 <省略>	
	附属書7 (規定) 共同溝類 <省略>	
10.	プレキャストプレストレストコンクリート製品 (JIS A 5373 : 2004)	566
	附属書1 (規定) ポール類 <省略>	
	附属書2 (規定) 橋りょう類 <省略>	
	附属書3 (規定) 擁壁類 <省略>	
	附属書4 (規定) 暗きよ類 <省略>	
	附属書5 (規定) くい類 <省略>	
11.	再生骨材Lを用いたコンクリート (JIS A 5023 : 2006)	571
	附属書1 (規定) コンクリート用再生骨材L	580

附属書 2 (規定) 再生骨材の製造工程管理用品質試験方法 (再生粗骨材 L の吸水率の推定値試験方法) <省略>	
附属書 3 (規定) 再生骨材の製造工程管理用品質試験方法 (再生細骨材 L の吸水率の推定値試験方法) <省略>	
附属書 4 (規定) 再生骨材コンクリート L の製造方法 <省略>	
附属書 5 (規定) 連続式の固定ミキサの計量及び供給性能 <省略>	
附属書 6 (規定) 連続式の固定ミキサの練混ぜ性能 <省略>	
12. 再生骨材を用いたコンクリート (TS A 0006 : 2004)	586
附属書 1 (規定) 再生粗骨材の製造工程管理用品質試験方法 (再生粗骨材の吸収率及び安定性損失質量の推定値試験方法) <省略>	
附属書 2 (規定) 再生細骨材の製造工程管理用品質試験方法 (再生細骨材の吸収率の推定値試験方法) <省略>	

I. 施工機械及び資材

1. ミキサで練り混ぜたコンクリート中のモルタルの差及び粗骨材量の差の試験方法 (JIS A 1119 : 2005)	597
2. 鉄筋コンクリート製品用プラスチックスペーサ (JIS A 5390 : 2001) <省略>	
3. コンクリートミキサ (JIS A 8603 : 1994 (2006 確認))	602
4. 建設用機械及び装置－コンクリート内部振動機 (JIS A 8610 : 2004) <省略>	
附属書 A (参考) 内部振動機の構造・寸法を示す例 <省略>	
附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
5. 建設用機械及び装置－コンクリート外部振動機 (JIS A 8611 : 2004) <省略>	
附属書 A (参考) 外部振動機の構造・寸法を示す例 <省略>	
附属書 B (参考) 外部振動機の試験時の設置方法 <省略>	
附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
6. パイプサポート (JIS A 8651 : 1995 (2006 確認)) <省略>	
7. 金属製型わくパネル (JIS A 8652 : 1995 (2006 確認)) <省略>	
8. クラフト紙袋－セメント用 (JIS Z 1505 : 2004) <省略>	
9. 包装用ポリエチレンフィルム (JIS Z 1702 : 1994 (2001 確認)) <省略>	

J. 樹脂系コンクリート

1. セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂 (JIS A 6203 : 2000 (2006 確認))	609
2. ポリマーセメントモルタルの試験方法 (JIS A 1171 : 2000)	616
3. レジンコンクリートの試験方法 (JIS A 1181 : 2005) <省略>	

K. 補修材料

Z. 一般

1. コンクリート用語 (JIS A 0203 : 2006)	631
2. 引張・圧縮試験機－力計測系の校正・検証方法 (JIS B 7721 : 2002) <省略>	
附属書A (規定) 試験機の一般検査 <省略>	
附属書B (参考) 圧縮試験機の耐圧盤の検査 <省略>	
附属書C (参考) 試験機を等級分類するときの代替的方法 <省略>	
附属書1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
3. 一軸試験機の検証に使用する力計の校正方法 (JIS B 7728 : 2002) <省略>	
附属書A (参考) 力変換器及び対応取付ジグの模範及び寸法例 <省略>	
附属書B (参考) 追加情報 <省略>	
附属書1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
4. 国際単位系 (SI) 及びその使い方 (JIS Z 8203 : 2000 (2005 確認))	647
附属書A (規定) SI 単位及びその 10 の整数乗倍単位と使用してよい SI 以外の 単位の例 <省略>	
附属書B (参考) 国際単位系の基本単位の定義 <省略>	
5. 数値の丸め方 (JIS Z 8401 : 1999 (2005 確認))	653
6. 試験場所の標準状態 (JIS Z 8703 : 1983 (2005 確認)) <省略>	
7. 試験用ふるい－第 1 部：金属製網ふるい (JIS Z 8801-1 : 2006)	655
附属書A (参考) 試験用ふるいの記録カード <省略>	
附属書1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 <省略>	
8. 計数規準型一回抜取検査 (不良個数の場合) (抜取検査その 2) (JIS Z 9002 : 1956 (2005 確認)) <省略>	
9. 計量規準型一回抜取検査 (標準偏差既知でロットの平均値を保証する場合及び	

標準偏差既知でロットの不良率を保証する場合)

(JIS Z 9003 : 1979 (2005 確認)) <省略>

10. 計量規準型一回抜取検査 (標準偏差未知で上限又は下限規格値だけ規定した場合)

(JIS Z 9004 : 1983 (2005 確認)) <省略>

11. 管理図—一般指針 (JIS Z 9020 : 1999 (2005 確認)) <省略>

附属書A (参考) 参考文献 <省略>

12. 品質マネジメントシステム—要求事項

(JIS Q 9001 : 2000, ISO 9001 : 2000) <省略>

附属書A (参考) JIS Q 9001 : 2000 と JIS Q 14001 : 1996との比較 <省略>

附属書B (参考) JIS Q 9001 : 2000 と JIS Z 9901 : 1998との比較 <省略>

附属書C (参考) 参考文献 <省略>

13. 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項

(JIS Q 17025 : 2005, ISO /IEC 17025 : 2005) <省略>

附属書A (参考) JIS Q 9001 : 2000との項目対照表 <省略>

附属書B (参考) 特定分野に対する適用を確立するための指針 <省略>